

記事

[Toshihiko Minamoto](#) · 2020年12月8日 4m read

DeepSee: データベース、ネームスペース、マッピング (1/5)

インスタンスのデータに基づくビジネスインテリジェンスを実装しようと計画中です。DeepSeeを使うには、データベースと環境をどのようにセットアップするのがベストですか？



このチュートリアルでは、DeepSee の 3 つのアーキテクチャ例を示しながら、上記の質問を解決します。基本的なアーキテクチャモデルを、その制限を重点に説明するところから始めましょう。以降のモデルは、複雑さが中程度のビジネスインテリジェンスアプリケーションに推奨されており、ほとんどのユースケースで十分なはず。チュートリアルの最後には、高度な実装を管理できるように、アーキテクチャの柔軟性を強化する方法を説明します。

このチュートリアルに含まれる例では、新しいデータベースとグローバルマッピングを紹介し、それらをセットアップする理由とタイミングについて説明します。アーキテクチャを構築するには、より柔軟な例から得られるメリットについて説明します。

始める前に

プライマリサーバーと分析サーバー

データの高可用性を実現する場合、InterSystems

では一般的にミラーリングとシャドウイングを使用して、ミラー/シャドウサーバーに DeepSee を実装することをお勧めしています。データの元のコピーをホストするマシンを「プライマリサーバー」と呼び、データとビジネスインテリジェンスアプリケーションのコピーをホストするマシンを「分析（またはレポーティング）サーバー」と呼びます。

プライマリサーバーと分析サーバーを用意しておくことは非常に重要です。これは主に、いずれのサーバーにおいてもパフォーマンスに関する問題を回避するためです。 [推奨アーキテクチャ](#) に関するドキュメントをご覧ください。

データとアプリケーションコード

ソースデータとコードを同じデータベースに保存することは、通常、規模の小さなアプリケーションでのみうまく機能します。より大規模なアプリケーションでは、ソースデータとコードをそれぞれの専用データベースに保存することが推奨されます。専用のデータベースを使用することで、データを分離しながらも、DeepSee が実行するすべてのネームスペースでコードを共有することができます。

ソースデータ用のデータベースは、本番サーバーからミラーリングできるようにしておく必要があります。

このデータベースは、読み取り専用または読み取り/書き込みのいずれかです。

このデータベースでは、ジャーナリングを有効にしておくことをお勧めします。

ソースクラスとカスタムアプリケーションは、本番サーバーと分析サーバーの両方にある専用データベースに保存します。これら 2 つのソースコード用データベースは同期している必要がなく、同じバージョンの Caché を実行している必要もありません。

コードが別の場所で定期的にバックアップされているのであれば、ジャーナリングは通常必要ではありません。

このチュートリアルでは、次の構成を使用しています。分析サーバーの APP

ネームスペースには、デフォルトのデータベースとして APP-DATA と APP-CODE があります。APP-DATA

データベースは、プライマリサーバーにある

ソースデータ用データベースのデータ（ソーステーブルのクラスとファクト）にアクセスできます。APP-CODE

データベースは、Caché コード（.cls と .INT ファイル）とほかのカスタムコードを保存します。

このようにデータとコードを分離するのは典型的なアーキテクチャであり、ユーザーは、DeepSee

コードとカスタムアプリケーションを効率的にデプロイすることができます。

異なるネームスペースでの DeepSee の実行

DeepSee

を使用したビジネスインテリジェンス実装は、異なるネームスペースから実行されることがよくあります。

この記事では単一の APP ネームスペースのセットアップ方法を示しますが、同じ手順を使えば、ビジネスインテリジェンスアプリケーションが実行するすべてのネームスペースをセットアップすることも可能です。

ドキュメント

ドキュメントに含まれる [初回セットアップの実行](#) に関するページの内容を理解しておくことをお勧めします。

このページには、Web アプリケーションのセットアップ、DeepSee グローバルを個別のデータベースに配置する方法、および DeepSee

グローバルの代替マッピングのリストが含まれています。

このシリーズの [第2部](#) では、基本的なアーキテクチャモデルの実装について説明します。

[#マッピング](#) [#チュートリアル](#) [#デプロイ](#) [#データベース](#) [#ベストプラクティス](#) [#分析](#) [#初心者](#) [#InterSystems IRIS BI \(DeepSee\)](#)

ソースURL:

<https://jp.community.intersystems.com/post/deepsee-%E3%83%87%E3%83%BC%E3%82%BF%E3%83%99%E3%83%BC%E3%82%B9%E3%80%81%E3%83%8D%E3%83%BC%E3%83%A0%E3%82%B9%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B9%E3%80%81%E3%83%9E%E3%83%83%E3%83%94%E3%83%B3%E3%82%B0%EF%BC%8815%EF%BC%89>